

- ・ 今回のmtgは、前回の合宿で時間を取り切れなかった2024年の目標をマインドマップでシェアし合った。

Aさんのマインドマップは、楽しみの部分が描かれているのが特徴的だと思った。きっと今までだったら、楽しみは目標とは切り離して考えていたのではないかと思うので、「楽しみを育てたい」という部分に、この一年のAさんの変化を感じた。また、物事を早く決めることは、Aさんの長所にも結び付いているので、切り替えが難しいと思ったが、やるべきこととやりたいことの区別ができると、「好きや楽しみを育てる」という目標も同時に叶うのではないかと思った。

Bさんのマインドマップには、研究内容の詳細が記されていて、些細な部分だけど、Bさんの仕事のイメージがより伝わって来た。合宿やコーチング練習会を通して知ったBさんのマッチョ思想は、Bさんを形作っている大事な価値観だと感じた。(Bさんが産後半年で職場復帰したこと、手当をもらったら戻れなくなると思って嫌だったと話していたこと、私は聞いてBさんへの「かけー」が増しました)表向きには出しづらくても、10年プロジェクトの中では、「冷たいかもしれない」という打消しの言葉を使わずに、ストレートに出してほしいなと思った。

自分の目標では、家族とのコミュニケーションについて、曖昧なところを質問してもらった。現状の課題を共有する中で、今まで取り組んで来た「本音を言う」や「踏み込む」が、家族に対して使うのが難しいと感じていることを実感した場面でもあった。たしかに簡単に使えるなら、とっくに使ってる

よなあと(苦笑)1年で形にするのは難しいかもしれないが、2024年はまずチャレンジの回数を増やしたいと思った。

続いてフィードバックコーナーでは、Bさん、Aさん、2人から、先日の陽子さんとの釜板でのやり取りについて、フィードバックをもらった。先日野生ポストで詳しく触れたのでここでは簡略するが、**2人が私の成長を思って伝えてくれたことが、とても嬉しかった。世の中に溢れるアドバイスは、「あなたのためを思って」と言うものの、自分の価値感がベースにあったり、そう言いながら自分のためだったりするものも多い。純粹に私の成長を思って伝えてくれたことが何より嬉しかったし、そういう関係を自分たちで作れたんだと実感して、mtgが終わった後にじんわり胸に来るものがあった。**

今後の10年プロジェクトについて、新メンバーとの関わりについては、前日に陽子さんからもらったメッセージから、自分の中に「若者フィルター」があることに気付いた。そもそも普段若者と接する機会が少ないこと、自分が同じ位の年齢だった時と比べると、時間とお金をかけて自己研鑽をしているという時点で素晴らしく見えること、まだ若いから伸びしろがあると思ってしまうこと。**それらがフラットなコミュニケーションを阻害しているんだなあと。**

mtgではざっくばらんに思っていることを交わし合ったが、陽子さんが面談の日程を変えてほしいという後輩からの依頼に対して、どう接したかというシェアから、「やりたいこと」をベースに考えるという、**10年プロジェクトの基本理念を改めて確認した。**日常の些細な部分にも表れるんだなあ、自分はできているだろうかと、陽子さんの話に聞き入ってしまった。

また、Aさんが、共感できないから言えないは違うんじゃないかと率直に伝えてくれたことも嬉しかった。最近加入したメンバーに限らず、今後新メンバーが入った時に必ずぶつかる問題だと思う。その場で結論は出なかったけど、大事な問いをもらった。私としては、今回の話し合いを通して、相手が誰であれ大事に思うことは伝えていこうと思えた。(会社で唯一いる若者にも、気を遣っているという自覚があったので、同じ考えでいこうと思う)

**2023**年前半は手探りでやっていたmtgも、どんな議題でも、それぞれ率直に意見を言い合えるようになってきたと思う。来年1年はどんな関係に進化(深化)させていけるのか、楽しみで仕方ない。1年間ありがとうございました！来年もよろしくお願いします！

(E.M 40代女性 埼玉県)